

篠山養護学校 令和5年度「学校関係者評価」(まとめ)

【学校関係者評価とは】

保護者、地域住民などにより構成された委員会等（本校では、「学校運営協議会」を位置付けている）が、本校の教育活動の観察や意見交換を通じて、本校教職員で行う「学校自己評価」と「保護者アンケート」の結果について評価することを基本として行うもの。

以下、令和5年度の学校運営協議会委員の皆様からいただいた評価（意見等）をまとめています。保護者の皆様とは、また異なる第三者的な立場からの評価（意見等）となっていますので、ぜひ次年度の教育活動の参考にさせていただきたいと思います。

【学校運営全般】

- ・中断していた諸行事が復活する中で、新たな取組や変化した取組など、本当に子どもたちの喜びとなったり成長となったりしたかどうか、委員だけでなく保護者にも伝わる形になればと思います。
- ・新春ふれあい交流会では、在校生、保護者だけでなく、地域の自治会の方も参加され、子どもたちと一緒にゲームを楽しんでおられる姿が印象的だった。ふれあい、共同する中でお互いの理解も深まるので、校外との交流の場や機会は、今後もあれば良いと思います。
- ・HPや学校だより等の発行も定期的にされており、学校の様子が分かりやすいです。本年度はオープンスクールやその他いろんな行事が開催され、地域の方々も参加できるようにしていただけて良かったです。
- ・地域住民が篠山養護学校を知り、身近に感じることでできる取り組みが活発になされています。“篠養ショップ”で市役所に出向き、生徒の作品を販売する取組等も、就労体験になるうえに地域住民等にとっても、学校や子ども理解、応援の機運につながるので、今後もこのような機会が増えると良いと思います。
- ・コロナの制限解除により、従来に近い形で行事が実施され嬉しく思います。
- ・児童生徒の登下校に関しては保護者の満足度が高く、安全安心に取り組むことができているのはよいが、卒業後の進路先によっては、通勤通所面において自立が必要かと思います。
- ・感染が生死に直結する子どもがいる中、対応には苦慮されたことと思います。そんな中でも安全を重んじるばかりでなく少しずつ開放し、通常の生活に近づけていかれたことは良かったと思います。
- ・先生方のライフステージに合わせ、研修会等に行きやすい体制づくりが必要かと感じます。

【学習指導】

- ・学習発表会等の成果は感じられましたが、指導者や本人たちが、その場でもっと褒められても良かったのではないのでしょうか。校長の言葉がまとめではなく、各学部ごとのまとめがあっても良かったのではないのでしょうか。
- ・個々の障がい特性に合わせて学習を進めておられることに感謝します。
- ・早期発達支援室の支援が手厚く、計画的で伸ばしたい力に重点を置いておられるのがよくわかりました。
- ・少人数制で、小・中・高ともに細やかな指導をしていただいている。将来生きていくために、子どもの特性に応じた支援を教員は考えるべきです。
- ・学習面では、個人にあった内容で取り組んでもらえていると思います。しかし、学部単位・学年単位など、数名そろって何かする際、関わら（れ）ない子は関わら（れ）なくて良いという感じが感じられます。個人を尊重している一方で、その本人は規律を守ることや協調性を学ぶ場が乏しいまま社会へ出てしまうことにならないかと心配します。それは、社会でた際の生き辛さへ繋がってしまわないかと…。どのくらいの自由と我慢が必要なのか難しい課題ですが、社会へ出たあとの生活が少しでも安定するように、取り組んでいていただきたいです。
- ・学力としての学習と生きる力としての学習と、支援学校では何に重きを置いて指導するかというのは、個々によって違うと思います。家族の意向や周囲とのバランスなど、難しい分部も多々あるかとは思いますが、本人にとって何が大事かを見極めて、指導内容を組み立てていただければと思います。

【生徒指導】

- ・養護学校は丹波篠山にはもちろん一校だけですが、各校には特別支援学級担当の先生方がいらっしゃると思います。交流や意見交換・研修会など、公開の場があっても良いのではないのでしょうか。
- ・全市的な課題として、支援体制を整えたいと思います。
- ・不登校については、様々な要因が複雑に絡み合っています。家庭環境も大きな要因だと思いますが、学校だけで対応が難しい場合は、福祉等との連携は不可欠です。他の学校と違って、篠山養護学校には子どもの人生全体を見てコーディネートする人材が必要ではないかと感じます。
- ・良し悪しの判断や程度。遊びの延長で行き過ぎてはいないかなど、友達同士や先生に対して、また男女間など、様々な場面での付き合い方を、見守りご指導いただきたいと思います。
- ・修正がしにくい子たちですから、将来を見越して、また本人の特性や理解の仕方に配慮して、個々に合った指導をしていただけると安心です。

【その他・働き方改革・安全安心の取組】

- ・職員の皆様の心のケアを、校内でどのように取り組まれているのかが見えにくかったので、教えていただきたいです。
- ・駐車スペースが少ないのは問題です。解決すべきだと感じます。
- ・働き方改革には、教職員も意識的に取り組まれていると聞きました。ただ、登下校のスクールバス運行についての管理業務は、子どもの登下校の安全を守るために必要な取組とはいえ、近年の幼児児童生徒数の増加により、昔とは状況が異なり、何か対策を講じなければならないと感じました。本来、登下校の責任は保護者にあります。篠山養護学校の子どもたちの実態や家庭支援を考えると、もう少し福祉的な側面から支援はできないかと考えます。
- ・保護者の中には、我が子の将来への不安を持っておられる方が多いと感じます。暮らしや就労先など、進路のお便りなどで特集記事などを出してもらえると、より具体的なイメージを持ちやすいかなと思いました。
- ・先生方の働き方改革が進む中、保護者や関係機関等との相談や連携が円滑にできるのか心配です。また、役職、担任、各部署の業務配分に偏りがさらに大きく生じるのではないかと危惧しています。
- ・先生方が、楽しくやりがいをもって働いてくださることが、何より子どもたちにも良い影響を与えることに繋がると思います。

以上が、学校関係者（学校運営協議会委員）の皆様よりいただいた評価（意見等）です。この一年間、学校運営協議会委員として、本校の様々な行事に関わっていただいたうえに、このような貴重なご意見を多数いただきました。本当にありがとうございます。

冒頭にも記載いたしました通り、これらの貴重なご意見は、少しでも次年度の教育活動に反映させることができるよう、努めて参ります。